

CONTENTS

- P2～3 薄紅色の花びらたちの競演
- P4～5 春暖のえびなを歩く
- P6～9 海老名の防災対策
- P10～11 県立中央農業高校×ローソンオリジナル商品ができました
- P12 住宅リフォーム助成申請受け付け
- P13～15 各種案内
- P16～17 保健相談センターだより
- P18～19 情報

■ 表紙写真 ■

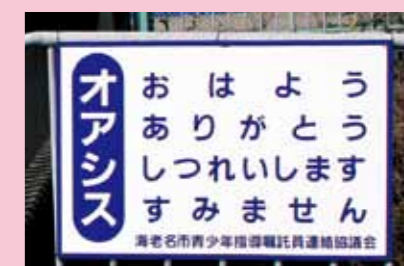
皆さんは「おあしす運動」をご存知ですか？この運動はあいさつの言葉の頭文字をとったもので、

- お…「おはよう」
- あ…「ありがとう」
- し…「しつれいします」
- す…「すみません」

を、日ごろから言えるように心がけようという運動です。

4月は、新入学・新社会人など、新たな生活を始める方も多い節目の月。気分新たに、気持ちの良い生活を送るため、“ちょっとした心遣い”を忘れずにということで、今号の表紙では「おあしす運動」を紹介しました。

皆さんも、“笑顔であいさつ”始めませんか？



## 薄紅色の花びらたちの競演

桜の季節になりました。花見は、日本で古くから春の風物詩として定着しており、奈良時代の貴族の行事が起源だといわれています。

「やまごまの 事思ひ出す 桜かな」。これは、松尾芭蕉の俳句のひとつです。自身の若かりし日々の苦労や喜びを思い出し、感慨無量の気持ちを詠んだ句とされています。

また、むかしばなし「花咲かじいさん」の中では、枯れた桜の木に花を咲かせるエピソードが組み込まれるなど、「桜」を題材にした俳句や物語、歌などは数多く、私たち日本人にとって「桜」はなじみの深い花だということが分かります。

市内には、花見スポットが点在しています。「やまごまの事」を思い出しながら、桜めぐりに出かけてみませんか。

北部公園目久尻川沿いの桜